

◆7月に提出いただいた10句を読んで

【総評】 6月の句に比べ具体的な記述がみられるようになりました。いい傾向だと思います。

今月は佳句も一句でました。この調子で頑張ってください。

しかしながら「政界揺れる」「円安市場」など新聞記事からのそのままのような表現がありますので、川柳になるように置き換えましょう。

川柳は他人に読んでもらう文芸です。どう書けば読んだ人が共感してくれるかを考えて下さい。

また女性の性的なことを表現するのはセクハラになりますのでやめましょう。誰も喜びません。

詳細は個別にのポイント欄を参考にしてほしいですが、読み手にはっきりとイメージが湧くような、具体的な言葉を選びましょう。

添削例は、具体的な言葉を使った作句例ですので、〇〇さんの思いと合っていないことでしょう。

「違う」と思わず、添削例を参考にご自分の言葉に置き換えて、推敲することをお勧めいたします。

川柳上達には多作も大事ですがそれ以上に推敲が大切です。

6月の句はその後推敲しましたか？ くだいようですが上達の早道は推敲です。一句にこだわって納得いくまで書き直してみてください。

NO	提出いただいた句（元句）	ポイント	添削例
1	何となく政界揺れる予感する	課題「何となく」からの句です。課題が「何となく」といった副詞の場合、詠みこまないで意味を句に織り込むようにすると効果的です。詠みこまない句は最初は難しく感じますが、提出句は2句ありますから、1句は詠み込み、もう1句は詠みこまないで書くようにして練習しましょう。	政治と宗教のきな臭い匂い
2	未だ続く円安市場荒れ模様	課題「何となく」からの句です。課題を詠みこまない点がいいです。「円安市場」は7音使う割には読み手には響かない言葉なので川柳らしくユーモアを入れて推敲してみましょう。	円高も円安もぼくには縁がない
3	風が呼ぶ呼子のイカとサザエから	課題「呼ぶ」からの句です。「呼ぶ」という課題で呼子のイカを入れると「呼」という字が2つになって読み手にゴチャゴチャした印象を与えます。どちらかひとつで十分です。ただ呼子のイカを使う場合は字結びになりますから注意しましょう。イカとサザエも欲張りすぎ、どちらかひとつでいいのです。	もう会えぬ友と呼子の烏賊を食う
4	参院選呼べど呼べど風吹かぬ	課題「呼ぶ」からの句です。選挙は何を呼べば風が吹くのでしょうか？この意味が通らないので「吹かぬ」と書いても読み手には書き手の意図が伝わりません。課題からいったん離れて、何をいいたいのか整理して書いてみましょう。	無風区の選挙で名前だけ連呼

5	泣きながら諭してくれた父母がいた	課題「諭す」からの句です。一見それらしくまとまっている句なので、選者よっては取ってくれるでしょう。しかしこのような句は世の中に掃いて捨てるほどあります。ありきたりな言葉ではなく自分だけしか書けない川柳を考えましょう。	とりけものちちははがいて諭される
6	人生とは諭されながら道悟る	課題「諭す」からの句です。川柳は人生訓めいたことを言う文芸ではありません。こういう句は捨てましょう。また「諭す」「悟る」の重ね方は韻を踏んだのですが成功してません。慎みましょう。	諭される曾孫のような看護師に
7	友が又敵愾心に火を付けた	課題「敵」からの句です。このままだと「敵愾心」の説明してるだけです。うがち、ユーモアなどを入れてもっと川柳的に仕立てましょう。	ライバルと好きなラーメン屋も同じ
8	少女から女に変わる祝い膳	課題「少女」からの句です。男性が書くと現在ではセクハラ句になります。捨てましょう。男性が女性について性的なことを書くのは慎みましょう。	鈍行で富嶽百景読む少女
9	対岸の少女ぼんやり風を待つ	課題「少女」からの句です。これはOK。あえて言うなら「対岸」を工夫して少女の造形に厚みを付けることもできるでしょう。この調子で頑張ってください。	添削はありません
10	独り酒一杯二杯があと腹いっぱい	課題「雑詠」からの句です。三杯以上はたくさん、という数え方はありふれていてわざわざ川柳で書く必要はありません。ここは独り酒をもっと掘り下げて書いてみましょう。○○○さんは独り酒を飲んでどういうことを考えますか？腹いっぱいとかでなく、そのときの思い、感情を川柳にしてください。	満員の居酒屋で呑む独り酒